



子ゼモ・若者の 生きづらさを理解する

令和7年 2月1日(土) 13:30~16:30 (開場13:00)

会場：ウエスタ川越 2階 会議室1

(アケセス=裏面に地図)

●参加費 無料

パネルディスカッション

子どもたちの悩みや生きづらさは様々です。すべてを理解はできなくても、「理解しよう」とする気持ち・姿勢が何より大切です。さまざまな場面で子ども・若者と向き合っている皆さんのお話から、私たち 大人に何が求められているのか、一緒に考えていきましょう。

えん どう
遠藤 まめたさん(一般社団法人にじーず代表)



おく とみ
奥富 通史さん(保護司)



かね こ
金子 由美子さん(認定NPO法人さいたまユースサポートネット)



● 進行 NPO法人 非行克服支援センター 上田 祐子 さん

- **一般社団法人にじーず**: 10代から23歳までのLGBT(かもしれない人を含む)が集まれるオーガニゼーションを定期開催しています。ミッションは「LGBTの子ども・若者が安心して思春期をサバイバルできるつながりを作ること」です。
- **保護司・埼玉県保護司会連合会**: 保護司は、犯罪や非行をした人たちが再び罪を犯すことがないよう、立ち直りを地域で支える民間のボランティアです。全国で約47,000人が活動しています。
- **認定NPO法人さいたまユースサポートネット**: 子ども・若者が抱える困難は数多く、さらに「見えづらく」なっています。居場所支援・就労支援・学習支援・地域づくりなどの活動をしています。
- **NPO法人非行克服支援センター**: 我が子の非行に悩む親を支え、子どもたちの非行からの立ち直りを支える活動を行っています。当事者の目線を大事にし、少年事件や非行に関する相談・支援を行います。

定員 60名: 事前のお申し込みが必要です。裏面の申し込み方法をお読みください。

※問い合わせ： NPO法人非行克服支援センター

電話 03-5348-6996 メール npo-ojd@cocoa.ocn.ne

当イベントは埼玉県 (担当課：県青少年課 (電話048-830-2904)) の主催事業です。